

視野を広くもって、自分にあった職業を

株式会社村田製作所 社員
陣内 あき子



*プロフィール
横浜市立桜丘高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・応用生物科学科卒業→株式会社村田製作所（現職）



仕事の内容とやりがい

自社の製品（電子部品）を、お客様に採用していただくために、シミュレーションや測定をして、お客様に提案をする課に所属しています。私はその課で、シミュレーションや測定アシスタント、また課のメンバーの勤怠の管理等も行っています。

大学で勉強していたのは生物学ですが、業務に必要な知識は物理学です。もちろん技術系の社員の指示のもと作業を進めるのですが、最初は専門用語を含め知らないことが多く、「何を指示されたのか」「その作業の目的は何なのか」を理解するのに大変苦労しました。今でもわからないことは多くありますが、周りの方と分担して大きな仕事ができたり、新しい知識を得た時にとてもやりがいを感じます。



進路決定のきっかけ

小学生のころから理科に興味を持ち、大学では応用生物科学科で勉強していました。希望していた具体的な職業はなかったのですが、就職活動を始めたころは、大学で学んだ事に関連している職業を希望していました。しかし、なかなか内定が決まらず、違う業種の職業も調べるようになりました。様々な業種を調べているうちに、「今まで希望していた業種以外でも、楽しく働き甲斐のある職業がありそうだな」と思うようになりました。

今の会社に決めた理由は、最先端の技術に携われるというところに興味を持ったからです。好きな生物学とは関係がないですが、「やはり理系の会社がいい」と思い、今の会社を選びました。



仕事と生活／家庭のバランス

私が生活面で気を付けていることは、健康管理です。学生のころはあまり健康に気を使っていなかったのですが、仕事は突然休むと周りに迷惑がかかってしまうので、健康のために休みの日でもできるだけ生活のリズムを変えないように気を付けています。特に予定のない日は、ついゆっくり寝てしまいがちなので、朝からスポーツジムに行くなどしています。生活のリズムを整える効果以外にも、日ごろの運動不足も解消できるので、とてもお勧めです。

私は独身なので、家庭とのバランスをあまり気にしていませんが、お子様がいる方は、早めに帰宅できる制度などを利用しています。また、特に小さなお子様がいらっしゃる方はどうしても、突然仕事を休まざるを得なくなる事があるので、いつ休んでも大丈夫なように、やりかけの仕事は、途中経過を同僚に報告して帰るよう工夫している方もいらっしゃいます。



進路選択に対してのメッセージ

就職活動や就職をして思ったことは、世の中には様々な職業や仕事があるということです。私は就職活動をするまで、今の会社で働くことを全く想像していませんでした。しかし、様々な会社を見ているうちに、自分に合っていそうな会社だと思いました。そして縁があり就職することができました。

具体的な夢を持って、それを職業に結び付けることも大切ですが、もし就職で迷うことがありましたら、今まで考えていなかった職業を見してみる事も良いと思います。それは視野を広く持つことで、決して悪い事ではないはずです。色んな方の話を聞いて、色んな会社を見て、少しでも自分に合った道に進めるよう、頑張ってください。

どんな経験も無駄にはならない 積極的にチャレンジしてみてください

鈴木 あみ
ケンコーマヨネーズ株式会社
商品開発部門 調理食品部



仕事の内容とやりがい

ケンコーマヨネーズは、レストランやコンビニ、スーパー等、業務用を中心にマヨネーズ、ドレッシング類や、サラダ、タマゴ加工品等の製造販売を行っている会社です。私は現在、当社が運営する Salad Café というサラダショップの商品開発を行っています。サラダといっても、味や見栄えはもちろん、時間で野菜の色や味が変わりやすいような工夫をしながら、日々「新しいサラダ」作りに取り組んでいます。まだまだ経験は浅いですが、若手でも責任のある仕事ができる環境もあり、担当商品も多数持っています。辛い事もありますが、その分やりがいは大きく、自分の商品が店頭で並んでいるのを見ると、いつも嬉しく感じます。また、自分が携わった Salad Café のレシピ集が発売され、本屋さんに並んでいるのを見た時も本当に嬉しく、いつも書店で探してしまいます。



進路決定のきっかけ

私は昔から食べる事が大好きで、食に関して勉強したいと思い大学を選択しました。研究室では食品の機能性の面白さに魅了され、大学院にも進学しました。そのため、食品業界への就職は私にとっては自然なことで、就職先は食品業界しか考えていませんでした。当時は超就職氷河期と呼ばれる時期で、何社受けても不採用の通知を受ける日々。研究との両立が辛く、何度も心が折れそうになりました。それでも食品メーカーを受け続け、出会ったのがケンコーマヨネーズでした。業務用メーカーは企業名やブランドという先入観なしに、製品の味や質で勝負できます。また、業務用だからこそ、幅広く食されていることにも魅力に感じました。採用の過程で、私の資質や能力をよく見てくれた事もこの会社を選んだきっかけです。



仕事と生活／家庭のバランス

趣味が食べる事なので、美味しいお店や話題のお店に食事に行く事が多いです。会社ではフットサル部に所属しており、楽しく汗を流しています。フットサル部では活動以外にも夏はバーベキュー、冬はスノーボードと、仕事以外でも職場の人と楽しく関わっています。また、温泉が好きなので休日は友人と旅行に行ったり、山登りやアウトドアを楽しんだりもしています。

まだ家庭は持っていないのですが、会社には働くお母さんもたくさんいらっしゃいます。仕事と家庭のバランスを保つことは容易ではないかもしれませんが、将来的には先輩方の様な、素敵な働くお母さんになりたいと考えています。



進路選択に対してのメッセージ

社会人になり、世の中にはたくさんの仕事がある事を実感しました。大学で学んだ事をそのまま活かせる人は少ないかもしれませんが、やりたい仕事に就ける事も少ないのかもしれない。しかし、私は、一つ一つの行動に意味があって、無駄な事は一つもないと考えています。私は大学時代かなりの時間を費やして教員免許状を取得しました。今の仕事には直接的に関係ありませんが、授業の仕方や話し方は、プレゼンや商品説明に活かしています。また、教職課程で学んだ、何事にも疑問を持って！という考えは、常に周囲にアンテナを張り、新しい商品づくりをするという今の仕事に、とても役立っています。どんな経験も無駄にはなりません。興味を持ったならどんな事にでも挑戦してほしいと強く思います。



*プロフィール

函館白百合学園高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・食品科学工学科(現、食品生命学科)卒業→日本大学大学院・生物資源科学研究科・生物資源利用科学専攻・博士前期課程修了→ケンコーマヨネーズ株式会社商品開発部門所属(現職)

人生に無駄なことはない！

● 千田 浩子

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校 教諭



仕事の内容とやりがい

大学を卒業後、生物資源科学部で副手として学生実験の補助をしていました。大学生と接する中で、教員として中学生・高校生に理科の面白さを伝えたいと思うようになり、教職に就くことを決めました。現在、生物を教えています。生徒は積極的で、よく勉強するので、こちらも“興味を持ってもらえる授業、わかりやすい授業”を心がけ、まだまだ勉強中です。副手をしていた経験も今の仕事をする上でとても役に立っていると感じています。また、私が大学で専攻した分野に興味を持って進学する生徒や、出身学科・出身研究室に入学する卒業生が増えていることは、教員になって良かったと思うことの一つです。



進路決定のきっかけ

小学生の時から学研の「科学」を読むのが好きでした。そのため理科は得意科目でしたが、将来は理科とはまったく関係ない職業に就くことを考えており、文系学部への進学を希望していました。しかし、高校時代の担任から「大学は職業に就くために行くのではなく、興味あることを深く学ぶために行くところだ」と言われ、ヒトの体のしくみや生活に身近な化学が好きだった私は、生物資源科学部・農芸化学科（現、生命化学科）に進学することに決めました。大学では実験も多く、所属した栄養生理化学研究室では自分の興味あることを研究することができ、友人にも恵まれ、充実した学生生活を送ることができました。



仕事と生活／家庭のバランス

現在、吹奏楽部の顧問をしており、休みはあまりありません。そのため、まれの休みは“掃除”をしたり、趣味のエレクトーンを弾いてリフレッシュをしています。また、時間のあるときは本屋へ行き、色々な分野の本をまとめ買いしています。（読めていない本もあります）その中で“朝活がよい”とわかり、今は朝早く起きてしっかり料理をし、ゆっくり食事をして、お弁当を作って、早めに出勤する、という時間の使い方をしています。夜の食事は簡単にすませるので、時間を有効に使うことができている気がします。料理をするのも楽しく、これもまた気分転換になっています。



進路選択に対してのメッセージ

大学は好きなことを学びに行くところだと思います。職業や資格も大事ですが、最後は何を学びたいかだと思います。私自身やりたいことを学んだ結果、今の自分があり、充実した毎日を過ごすことができていると感じています。まだ自分は何を学びたいのか、どんなことに興味があるのかわからない人も多いと思います。そういう人は是非本屋に行ってみてください。色々な分野の本や雑誌があり、“おもしろそう”と思えるものがあるかもしれません。また家族や先生に話を聴いてみるのもいいと思います。そして学校の勉強を大切にしてください。高校までの勉強は「教養」の範囲です。社会に出たとき、勉強して良かったと思えるはずです。苦手だからと毛嫌いせず、まんべんなく取り組むことが大切だと思います。



*プロフィール

日本大学第三高等学校卒業→日本大学農獣医学部・農芸化学科（現、生物資源科学部・生命化学科）卒業→日本大学生物資源科学部・一般教養副手→日本大学藤沢高等学校教諭（現職）

神様からの Gift

高務 加奈子
バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社
薬事部長



仕事の内容とやりがい

昨年より外資系製薬会社で薬事部長をしています。会社にもよりますが、薬事部とは、製薬会社が医薬品の製造販売をするために守らなければならない薬事法や各種規制を理解し、厚生労働省や医薬品医療機器総合機構などに提出する各種書類や、新薬の申請書などを作成する部署です。薬事法や各種規制は解釈が難しく、書類はパーフェクトなものが要求されるので、日々勉強の毎日ですが、薬事のプロフェッショナルになれるように、頑張っています。海外で開発された医薬品が、日本の患者さんにも使用してもらえるように承認取得し、その承認と製造販売業を維持するという業務内容に加え、部門長としての責任に、とてもやりがいを感じます。米国本社とのやりとりもほぼ毎日行っていますが、自分が好きな英語が活かせるので、この職業に就くことが出来たことを嬉しく思います。



進路決定のきっかけ

中学の時から英語と数学が好きで、理系に進みました。高校では物理と化学を専攻していましたが、大学に入ってから生理学に興味をもったので、栄養生理化学研究室に入りました。最初はどうしていいのか不安でしたが、次第に英語の文献を読んで実験方法を検討することが楽しく思えるようになりました。大学3年生の時に、研究室の先生に「英語が好きだし、文献などが読めるから、外資系製薬会社の学術が向いているんじゃないの?」と言われたのがきっかけで、それまでは学術という部署名すら知りませんでした。医薬品の学術的調査や研修資料等を作成すると聞いて面白そうだと思い、外資系製薬会社の学術を目標にして就職活動を行いました。父に、「会社の名前ではなくて、仕事の内容で進む道を決めるべきだ」と言われて、学術として採用してくれた外資系製薬会社に入社しました。その選択は正しかったと思っています。



仕事と生活／家庭のバランス

一番辛かった時期は子供たちが保育園に通っている頃でした。朝、子供たちを保育園に送って行って、別れ際に泣かれたりすると、働いていいのだろうか?と不安に思い、自分も泣きそうになりました。また、帰宅してから、夕食の準備、お風呂、9時までに寝かしつけ、保育園で使った衣類の洗濯するのは、相当な気合と体力が必要でした。専業主婦が羨ましかった時期もありますが、子供たちは中学1年生と3年生になり、母親が働いていても、頼もしく優しく成長してくれました。たとえ時間が短くても、楽しい時間や大切な時間を共有することが大切だと思います。家事は家族でシェアしています。残業が多く、時には海外出張もありますが、支えてくれる家族がいるのは本当にありがたく幸せなことだと思います。



進路選択に対してのメッセージ

好きなことを職業にできたら幸せだと思います。でも好きなことを見つけることは意外と難しいかもしれません。自分が何をしたいのか、どんなことに喜びを感じるか、学生の時に自分を見つめることが大切だと思います。そして、それを発揮できる道を進んでいってほしいと思います。もし、残念ながら、好きな職業に就くことができなくても、どの仕事にも、きっと面白さや意義があるはずなので、それを見つけてください。不況であっても、頑張れば絶対に報われると信じています。自分の進路、そして人生は自分で決めることです。夢を持つこと、自信を持つこと（自信を持てるようになるまでの努力を含みます）、チャンスをつかむことが、進路選択には必要な要素だと思います。ぜひ、神様が自分に与えてくれた Gift（贈り物、才能）を見つけてください。



*プロフィール

日本大学第二高等学校卒業→日本大学農獣医学部・農芸化学科（現、生物資源科学部・生命化学科）卒業→インヌ・プランローラー株式会社（医薬情報学部）課で再生不良性貧血の治療薬などの生物学的製剤の担当→育児休暇（第一子出産）→復職→退職→第二子出産→生物学的製剤を取り扱う会社（アベンティスベリング株式会社、現、OSI Pharmaceuticals）の立ち上げを機に復職→薬事部、製品開発部、医薬安全対策部、臨床開発本部プロジェクトマネージャー等を経験→バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社に転職、薬事部長（現職）

役に立つ技術者になるために

● 館野 泉

神奈川県企業庁谷ヶ原浄水場 化学職



仕事の内容とやりがい

神奈川県に入庁し、水道事業や電気事業を行っている企業庁に配属となりました。最初の勤務先は水道局水質センター微生物課で、主に病原微生物の試験を担当していました。その後、谷ヶ原浄水場に異動になりました。浄水場は水道水をつくる施設ですが、その水源の湖で発生する藻類によっては、処理の過程でろ過池を目詰まりさせたり、水道水に臭いが着いたりする障害が起こります。私の仕事は、それらの浄水処理にとって問題となる藻類の発生状況を調査し、水質基準に適合した安全でおいしい水をつくるために浄水場の工程管理を行うことです。日々、水源の湖へ調査に出かけ、顕微鏡で藻類の分類や計数をしています。私にとって、多くの人々の生活を支える水道水の安全を守る仕事は誇りとやりがいがあるものです。



進路決定のきっかけ

日本大学藤沢高等学校に通っていたので、日本大学農獣医学部（現、生物資源科学部）は隣接していたこともあり、身近に感じていました。大学の進路説明会で、農獣医学部は様々な資格を取得することができ、就職率も良いことを知って興味を持ちました。また、当時は遺伝子解析の技術が急速に発展し、バイオテクノロジーが科学技術の中でも注目を集めている時期でした。そのような背景もあり、広大な海について知ることにも憧れがあったので、生物と海について学ぶことができる水産学科（現、海洋生物資源科学科）に進学しました。

大学卒業後は、大学で学んだことを活かして、女性が長く働くことができる職場が良いと考えて、技術系の公務員になりました。



仕事と生活／家庭のバランス

夫と娘の3人家族です。夫とは職場で知り合い結婚しました。出産後、約1年間の育児休業を取得して職場復帰しました。娘が保育園に行き始めの頃は、体調を崩してお迎えに行くことが度々ありました。そのため、仕事を続けられるか不安でしたが、3ヶ月経つ頃にはなんとか順調に通えるようになりました。まだ、娘が幼いので、時短勤務にさせて頂いています。これは、自分の体力面でも、娘との時間を確保する上でも助かっています。なお、夫は料理が上手く、家事全般をしてくれています。夫の協力と職場の同僚の温かい理解の元で何とか仕事と育児の両方を続けることができています。



進路選択に対してのメッセージ

皆さんは、理系の大学で学び、技術者になることを考えたことはありますか？私の同期生も女性技術者として活躍しています。1人は山形県の獣医師（獣医学科卒業）として、家畜の伝染病予防や畜産振興のために日々奔走しています。また、もう1人は岩手県一関市の土木技術者（農業工学科：現、生物環境工学科卒業）として、東日本大震災後には崩壊した道路の再建に尽力していました。そして、私の勤務する浄水場にも、化学、土木、電気などの職種で女性技術者がいます。あの震災の日には、浄水場も停電しましたが、発電機を稼働させて水道水を送り続けました。その発電機のメンテナンスの担当は、女性の電気技術者でした。女性であってもやれるのです。ぜひ、進路のひとつとして理系の大学で学び、技術者になることを考えてみてください。



*プロフィール

日本大学藤沢高等学校卒業→日本大学農獣医学部・水産学科（現、生物資源科学部・海洋生物資源科学科）卒業→神奈川県入庁 企業庁水道局水質センター微生物課 主に病原微生物に関する水質試験を担当→結婚→企業庁谷ヶ原浄水場に配属 主に藻類に関する水質試験を担当→第一子出産→育児休業を経て、元の所属に復職（現職）

ニオイの素人からプロへ

株式会社カルモア
空気環境事業本部

建築設備チーム営業

鳥羽 あゆみ



仕事の内容とやりがい

(株)カルモアでは、あらゆる場所で発生するニオイの調査から対策を行っています。商業施設、学校、病院、オフィス、工場等、様々な場所で発生する悪臭に本気で立ち向かう、日本で数少ない会社です。時には、首相官邸や大企業の社長さんから呼ばれる程、お客様は様々です。

私は、入社して7年になりますが、ニオイの調査や対策の為、日本全国を飛び回りました。お客様の信頼を頂く為、入社時には「臭気判定士」という国家資格を取得し、知識を高める努力をしました。

大学では、特にニオイを専門に勉強していた訳ではありません。しかし、日々ニオイに困っているお客様を目の前にし、原因究明と対策を行う事でお客様から感謝されるという非常に有難い環境が、ニオイのプロへ自分を成長させてくれたように思います。

今は、病院や大学の病理検査室や剖検室で働く縁の下の力持ちとなっている方々を支える為、ホルマリンや有機溶剤の対策を行うチームに所属し、日本を飛び回っております。



進路決定のきっかけ

就職活動の初めは、業界にこだわらず、多くの会社説明会や面接へ足を運びましたが、途中で、自分がどのようにしたいかの軸がぶれている事に気づきました。そこで、大学までの自分の経歴から興味を持ち続けている事を再度自覚し、「自然環境」に少しでも携わる会社に的を絞りました。その中で見つけたのが、空気を相手にする(株)カルモアです。

(株)カルモアと同時進行で、自然環境に携わる他社の面接もいくつか進めていましたが、(株)カルモアには、説明会時から必ず入社したいという運命的なものを感じました。

仕事が辛く、幾度か辞めたくなる事もありましたが、踏み止まる最大の理由は、自分が心入りしたいと思い、その為に努力した会社であるという思いです。



仕事と生活／家庭のバランス

所属している会社は、大企業ではありませんので、少人数で何でもこなす必要があります。その為、現場から17:00過ぎに会社へ戻ってから報告書や資料作成等の事務処理を行い、帰りが終電になる事もしばしばありました。現在は結婚し、帰宅後に夕食を作れるよう、早く帰る努力をしています。それでも帰りが遅くなる時は、夫と外食したり、夫に夕食を作ってもらったりと、夫の協力が欠かせません。

私が仕事と生活のバランスを維持する為に欠かせないと考えているのは、「食事」・「睡眠」・「遊び」です。平日は忙しく、昼食や夕食が後回しになる事もありますが、後で必ず食事の時間を作ります。食事する時間もなかったと思う事が、モチベーションを下げるからです。どんなに短くても食事の時間を作る事で、忙しく追われる自分に落ち着きを与え、ポジティブにさせます。また平日は、帰宅時間が遅くなると、夕食も遅くなり、睡眠も削られます。そこで、土曜日は昼までぐっすり眠ります。そして、十分な睡眠をとったら、必ずどこかへ出かけ、息抜きをするようにしています。

社会人になり、プライベート時間の貴重さを思い知りました。働くだけでは人生面白くありませんから、土日の休日や夏季休暇は、意欲的に行動するようにしています。



進路選択に対してのメッセージ

就職活動を通して、日本にはCMで目にする大企業以外に、多くの中小企業が存在する事を知ります。景気が低迷している中の就職活動は、企業の日もシビアになっている為、入社希望が叶わない事もあるでしょう。しかし、企業は様々なお付き合いで、意外に多くの他企業と関係を築いております。

私は、(株)カルモアに入社してから、就職活動当初に足を運んだ企業がお客様の立場になった事が何度もあり、その度に感慨深く思いました。「就職は縁」だとう聞きましたが、入社後はよりたくさんの縁があり、入社の希望が叶わなかった会社と巡り合う縁もあるかもしれません。

女性・男性問わず、少しでも長く入社した会社で力をつけられるよう、必ず自分で働きたいと本気で思った会社を選ぶ事をお勧めします。そうすれば、たとえ辞めたくなくなるような辛い時期があっても、踏ん張りが利きますし、努力も自然とされるでしょう。会社で努力が認められれば、結婚、出産の時も会社側が働き方をサポートしてくれると思います。



*プロフィール

千葉市立千葉高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・国際地域開発学科卒業→(株)カルモア入社→プロサービスチーム営業担当→結婚→建築設備チーム営業担当→妊娠により休職中

逆境を転機へ。未来は今の自分が創る

● 富澤 佐知子

東レ・メディカル株式会社
透析事業本部 CS室 学術グループ所属



仕事の内容とやりがい

今、私は東レの繊維技術を活かした血液透析器を始め、医療用具、医薬品を販売している東レ・メディカルの学術という業務を通じて、商品を販売する営業や医師・技師の方々と繋がっています。学術とは、社内や病院で行う製品説明を始め、最新の治療方法に対する情報や突然のトラブル等に適切な受け答えができる知識や経験と、生産と現場との橋渡しとして、商品の企画・立案、マーケティングに対する知識と能力を兼ね備えた働きを要求されます。知識と情報、経験を習得すればするほど深みが出てくる、非常にやりがいのある仕事と思っています。患者さんが急変し、すぐに情報が欲しい、などといった緊急性の高い要望を求められることもあるので、いつも現場を意識して緊張感を忘れないように、そして分かりやすい情報伝達を心掛けるようにしています。



進路決定のきっかけ

「いのち」を見つめられる職業に就きたいとかねてから望んでいました。生物資源科学部・農芸化学科に入学したきっかけも、生命の不思議を学問や研究を通じて深めたいと望んだからです。その後、就職活動を進めるうちに固まってきた自分の思いは、「医者や看護師といった治療行為ではなく、彼らをサポートできる役割をしたい。」という気持ちでした。そのため当初はMR (Medical Representative：医薬情報担当者) の募集を中心に就職活動を進めていました。しかし2000年当時の就職事情はすこぶる悪く、MRの選考にはことごとく落ちてしまいました。その時に出会ったのが現在の東レ・メディカル(株)です。

営業や現場をサポートする役割として、社内・社外問わず幅広く活躍できる学術という業務に興味を持ち、今の会社に就職を決めました。



仕事と生活／家庭のバランス

26歳で結婚、28歳で第一子を出産、31歳で第二子を出産し、会社では数少ない総合職での育児休暇や育児短縮勤務取得者となりました。結婚後すぐに住まいと遠く離れた大阪へ1ヶ月もの間、長期出張となってしまったことや、出産し職場復帰し、育児のために時間短縮勤務の制度を利用しましたが、次に続く女性社員や職場の皆さんに迷惑をかけないように、定められた時間内に最大限の仕事ができるよう努力するプレッシャーや、仕事に十分な時間を取ることができないこと等、仕事と家庭の兼ね合いで悩んだことも数多くありました。しかし自分のライフスタイルの変化を通じて仕事のありかたを見つめ直す機会を多く設けられたのは、自身の成長にとって良い経験となっています。現在は育児休暇を取得して働き続ける後輩達が増えてきたため、彼女たちの不安や悩みを解消できる存在になりたいと、鋭意努力中です。



進路選択に対してのメッセージ

学生時代は、色んな事に興味を持って、どんどん向かっていって下さい。その時に感じた自分の思いを大切にして下さい。その思いが、将来の自分に繋がります。そして例えば自分が望んでいた選択と違う状況にあっても、それを悲観するのではなく、それを土台にして次に繋げようとするポジティブな気持ちを持ち続けて下さい。

私が心掛けていることは、小さくても夢を持ち、叶えようと強く信じ続けることです。信じることで叶えられてきた夢が、今の自分に繋がっているのだと思っています。

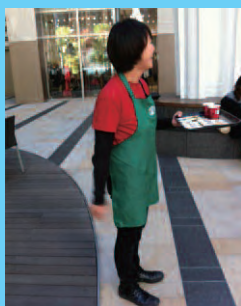


*プロフィール

埼玉県立不動岡高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・農芸化学科(現、生命化学科)卒業→東レ・メディカル株式会社入社→26歳で結婚→28歳で第一子を出産→育児休暇を経て復職→31歳で第二子を出産→育児休暇を経て復職、現在短時間勤務制度を活用して就労中(現職)

常にアンテナを張って、一步一步進むことが大切です

● 中尾 久美子
スターバックスコーヒー
ストアマネージャー
ジャパン株式会社



*プロフィール
日本大学鶴ヶ丘高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・国際地域開発学科卒業→スターバックスコーヒー
ジャパン株式会社入社→アシスタントストアマネージャーとして6店舗経験→ストアマネージャーとして現
店舗着任（現職）



仕事の内容とやりがい

ストアマネージャーは、商品の提供からアルバイトスタッフの採用まで店舗運営のすべてを任されていますが、実際にはパートナー（スターバックスでは、社員もアルバイトも、一緒に働く仲間としてこう呼びます）と一緒に、コーヒーを通して「お客様の生活に潤いを与える」ことを目指し、理想の店舗となるような環境づくりをすることが仕事です。具体的には、一人でも多くのお客様がまた来たくするような店舗の空間とはどんな空間なのかパートナーと話し合い、多方向から戦略と戦術を考えます。また勤務している皆が働きやすい環境とは一体どんな環境なのかなども意見を出し合い、より理想とする店舗へ近づけることを心がけています。

また、お客様は日本人に限らず欧米やアジアなど様々な国の方がいらっしゃいます。お店にいながら毎日世界を旅しているような、そんな気持ちになります。たくさんのお会いが溢れていて、そんな毎日が過ごせることがこの仕事のやりがいであり、大きなチャンスであると確信しています。



進路決定のきっかけ

幼い頃、父の仕事の関係で UAE に5年間滞在していました。当時、私は家族の提案になされるままに行動し、歴史や現状を知らないまま何度も海外旅行をしました。今思うと、とても恵まれた環境にあったにも関わらず、もったいないことをしたと後悔の気持ちもあります。

大学への進路を決定しようとした時も、もちろん出てくる思い出は家族で旅をした海外のことばかりでした。「自分が今まで訪れた多くの国へ再び訪れたい。今度は多くの知識を貯えた引き出しを両手にもって。」こんな夢を持ち、国際地域開発学科への入学を決めました。



仕事と生活／家庭のバランス

店舗へ足を運んでくださった方へエクスペリエンス（コーヒーを通じた感動体験）を提供できるように、自分の生活にも「感動体験」を多く含めるよう心がけています。人と出会うこと、仲間と再会すること、自然と触れ合うこと、家族に会うこと、新しいものを吸収すること、エネルギーあるものに触れること。限られた時間の中で、できることをしっかり考え生活することは自分の軸となり、行くべき道へと近づいている気がします。

ライフワークバランスをうまく保つためには、少し先のことを考えて今を生活することだと私は思っています。そのために「私の10カ年計画」というものを毎年の始めに立てます。夢や目標を持つことは、自分にとてつもないパワーを与えてくれます。これからも短・中・長期的な目標を持ち、毎日をしっかり歩いて行こうと思います。



進路選択に対してのメッセージ

就職することで、何をしたいのか。どんな仲間と一緒に仕事をしたいのか。10年後、どんな大人になりたいのか。明確なものは見えないにしても、しっかり見ようと努力すれば、それが実現するような方との出会いがきっとあります。その出会いにしっかり気がつけるよう、アンテナをいつも張っておくことがとても大切だと私は思います。

「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。」は、ガンジーの言葉です。最後に判断、決断するのは自分ですから、しっかり自分と向き合い、いい選択をしてください。一緒に明るい未来をつくっていきましょう。

自分のところに耳を澄ます

長倉 かすみ

公益財団法人横浜市緑の協会
動物園部 動物園調整課担当係長



仕事の内容とやりがい

動物園と言えば、まだまだ一般的にはレクリエーション施設として認識されていますが、実際には野生動物の研究施設であり、市民の方々への教育施設としての重要な機能があります。私は動物の飼育担当、学校や来園者への教育を担当した後、横浜にある3つの動物園を管轄する課の係長となりました。現在は、国際的な事業も多く担当しています。ウガンダの動物園への野生生物保全事業では、研修員の受入、ウガンダへ専門家派遣を通じて、これまでに培った飼育技術・教育技術の移転を図っています。また、世界動物園水族館協会の生物多様性ツール開発に関わるプロジェクトに入り、動物園の教育専門家と議論を進めています。野生生物の生息地は世界中にあり、その保全について真剣に議論ができる仲間が世界にいることが大きなやりがいとなっています。



進路決定のきっかけ

私が高校生になった頃、子どものころに遊んでいた家の周りの自然がどんどん住宅地へと変わっていききました。すごいスピードの変化の中で、私は無自覚に自然がなくなっていくのをただ見ているだけではなく、それを知った上で自分の生き方を決めることが重要だと思うようになりました。私は環境を守っていく技術を研究したいと思い、大学では農芸化学科を専攻しました。大学3年生の時、希少動物の保全活動で有名なイギリスのジャージー動物園の創設者であるジェラルドダレルの本に出会います。その時初めて、動物園が環境教育に寄与できる施設だと知り、研究者ではなく、教育者として環境を守る活動をしていきたいと思うようになりました。大学卒業後、10カ月にわたるヨーロッパの動物園での教育活動の調査を経て、動物園で働き始めました。



仕事と生活／家庭のバランス

動物園に就職した当初は、動物園の飼育員として、日中は動物の飼育作業、夜や休みの日は動物のことを調べたり、野生のフィールドで研究をしている大学の先生を訪ねたり、シンポジウムやワークショップに参加したり、他の動物園を見に行ったり、毎日毎日、動物園のことを考えて生活していました。就職してから6年目に、教育普及担当へ異動となりました。この頃から、仕事に没頭しすぎて顧みる余裕があまりなかった自分の生活について振り返り、なるべく環境にやさしい選択ができるよう努めています。フェアトレードの商品や地域の食材を購入して自炊するのはもちろんのこと、エコ箸やマイボトルを持ち歩き、自分自身も胸を張って動物園で環境教育を実践できるように毎日の生活を大切にしています。



進路選択に対するメッセージ

環境問題に取り組みたいと思い始めた頃は、動物園で働くことを全く予想していませんでした。しかし、一冊の本との出会いから動物園を目指し、今ではこれ以外の仕事は考えられないと思うほど、動物園に就職できたことがよかったと思っています。はじめから選択肢を狭めることなく、自分のやるべきことを見極めてチャレンジをしていくことが重要です。うまくいかなかったことや、回り道をしたと思うことも、これからきっとたくさんあるでしょう。しかし、それらすべてに全力で取り組むことで、すべてのことが自分しかできない貴重な経験となり、必ず役立ちます。すぐに結果が出ることばかりではありません。その先をいつでも見据え、自分のところに耳を澄ませて、自分自身がわくわくすることに取り組んでいくことで、その先へとつながっていくのです。



*プロフィール

神奈川県立横浜平沼高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・農芸化学科(現 生命科学科)卒業→民間企業に就職→日本大学生物資源科学部・農芸化学科副手→神奈川県からの助成金を得てヨーロッパの動物園の教育活動を調査→(公財)横浜市緑の協会に就職、ズーラシアで動物飼育と教育普及に携わる→野毛山動物園で動物飼育に携わる→動物園調整課の担当係長となる(現職)

笑顔をもっとに

● 中澤 瞳
株式会社中村屋
東京営業NC部 本部営業第1課 係長



*プロフィール
日本大学櫻丘高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・食品経済学科（現、食品ビジネス学科）卒業→株式会社中村屋入社→本部営業課に配属（現職）



仕事の内容とやりがい

中村屋はお菓子の製造、販売、またレストランの経営をし、その他グループ会社では不動産、スポーツクラブの経営等幅広い事業を展開しています。私は本部営業課に所属し大手量販店の本部窓口を担当しています。業務内容は多岐にわたり、お取引先の要望を反映したイベント案の企画や季節商品の提案を行い、営業ラインの売上寄与を主な業務としています。また販売方法の考案、商品開発に関わることも手掛け、その他社内外の円滑役として各部門の社内調整に努めています。

私は「お客様に満足いただける商品を開発したい」の一点で仕事に臨んでいます。お客様がそこに幸せを感じて頂けたらこんなに素晴らしいことはないと考えています。プレゼン業務で忙しく時間に追われる毎日ですが、思いをカタチに出来る非常にやりがいのある仕事だと思います。



進路決定のきっかけ

人生を毎日笑顔で元気に生活する為には、知識と知恵の活用で自分を充実させ、仕事や社会活動を通して社会に貢献する事、更には趣味への探求で生活をより豊かにする事が大切だと思っています。私は両親が食堂を営んでいる事から「食」への関心が高く、中学から続けていた陸上競技の為の体調管理から「食と健康」についても非常に興味を持っていました。そこで「食品経済」への道を選択しました。

モノづくりの良さを知り、更に食と健康に携わる仕事がしたく「新たな価値を創造し、健康で豊かな生活の実現に貢献する」の経営理念に感銘を受け中村屋に入社する事に決めました。



仕事と生活／家庭のバランス

毎日多忙な生活の中で全てが嫌になってしまう事もありますが、支え合える優しい家族に囲まれて幸せに生活しています。日々の生活がより充実し、楽しく、輝き続けるために、精神統一により内面から磨きたいと日本伝統の茶道や華道を習い、ゴルフやマラソンなどのスポーツや和太鼓を演奏することでストレスを溜めないようにしています。また四季折々の自然を感じ、新しい出会いや、新しい考え方を日々吸収しています。

多忙だからこそ、限られた時間の中で本当にやりたい事を見つけ出し、後悔しないように全力で取り組んで来ました。これからも人と人の繋がりを大切に、まだ見たことのない場所や物、まだ経験したことのない事に挑戦し続けていきたいと思ひますし、仕事でもあきらめる事なく最善を尽くしていきたいです。



進路選択に対してのメッセージ

今すぐ将来を決断!と言われても、ピンとこないと思います。自分がやりたい事と、合っている事は、必ずしも同一ではない事に気がつき、今でも自分自身悩むこともあります。世の中楽しい事ばかりでなく、環境が変化すると臨機応変に対応しなければなりません。人生は「選択の積み重ね」で諦めずに進む事だと日々感じています。

興味がある事には、貪欲に突き進んでください。そして周りの方々から多くのアドバイスを頂き、情報収集し知恵と知識を身につけて、真実を見つけてください。広い視野を持って基礎となる自分の考え方やポリシーの確立に繋げ、より豊かな人生を歩んで欲しいと思います。夢と希望に満ちて社会に羽ばたいてください。

公務員獣医師として行政&研究を！

成嶋 理恵

農林水産省 動物医薬品検査所
ウイルス学的検査第一領域A 農林水産技官
検査第一部



仕事の内容とやりがい

農林水産省 動物医薬品検査所は東京都国分寺市にあり、多くの獣医師が活躍している職場です。担当する業務内容としては、国家検定と呼ばれる動物用ワクチン等の品質を確保するため検査や、動物用医薬品のメーカーから新薬の承認申請があると、その内容を審査する等の行政的な業務及び動物用医薬品に関する調査研究（テーマはネコの内在性レトロウイルスに関する研究）を行っています。大学で学ぶ獣医学的な知識が十分に生かせる職場です。公務員というと机に向かっているイメージをお持ちかも知れませんが、検査や研究を行う為、毎日バタバタとしています。大学で行う研究とは異なり、好きなテーマで研究できるというわけではありませんが、研究を行うことは好きで、苦勞があっても、データがまとまり学会や専門雑誌に報告することができると、清々しい気持ちになります。



進路決定のきっかけ

小動物臨床を志し、獣医学科を希望し入学しました。学年が上がるにつれて、臨床科目も楽しかったのですが、特に伝染病学、ウイルス学及び獣医伝染病学研究室で習得した実験技術に興味を持つようになりました。就職先を考え始めた獣医5年次の夏休みに「横浜市インターンシップ」に参加し、公務員獣医師に興味を持ちました。食肉衛生検査所、動物愛護センター及び本庁での研修でしたが、公務員の業務の幅の広さを改めて実感しました。また、社会に出るにあたって、様々な人に関わることの出来ることに魅力を感じ始めるようになり、大きな組織で働いてみたいという希望が強くなり芽生えました。



仕事と生活／家庭のバランス

結婚・出産後も、やり甲斐のある仕事を持ちたいと考える女性は増えているでしょう。一方で、国家公務員という激務（そういった呼び方が相応しい部署もありますが…）なので、体を壊さないか心配という女性も多いかもしれませんね。公務員の魅力の1つには休暇制度がしっかりしており、取得しやすい雰囲気が職場にあることが挙げられます。有給休暇を計画的に取得して心身ともにリフレッシュ、万が一の際には病気休暇も取得可能です。私は趣味のダンスで燃焼することが明日の仕事への活力源&体力向上となっています。もちろん、産休・育児休暇も取得することができ、多くの女性職員は家庭と仕事を両立させて働いています。特に臨床獣医師の女性は出産を機に離職し、その後の復職は容易ではないことから、獣医師免許を生かせない場合が多いと聞きますが非常に残念に思います。



進路選択に対してのメッセージ

大学時代は、単位取得、卒業研究及び国家試験に追われ、あっという間に6年間の過ぎ去り、気がつくや卒業です。しかし、卒業後の人生は非常に長いものになりますので、インターンシップ、就職セミナー、職場訪問などを利用して自分やその将来について向き合ってみてください。最初は何がしたいのか良く解らなくても、活動していると見えてくるがあると思います。進路選択、就職活動、結婚といった人生の節目ごとに立ち止まって悩み、考え、弱気になってしまうことがあるかと思いますが、みんなが通ってきた道です。私は、未だ起こってもいいことに対してあまり不安に思わずに、何が起こってもそれも人生として楽しんでしまえ、と考えるようにしています。



*プロフィール

千葉県立柏南高等学校卒業→日本大学生物資源科学部・獣医学科卒業→東京都入都 芝浦食肉衛生検査所配属→農林水産省 入省（現職）

頭で考えるよりもやってみる！ 結果は絶対ついてくる！

株式会社ファンケル 管理本部情報システム部 事務職
羽根 響子



仕事の内容とやりがい

お客様に鮮度の高い無添加化粧品を製造し、通販・店舗・流通・海外と色んなチャネルで販売し、顧客管理やマーケティングなど専門システムの企画管理をする仕事をしています。言わば IT を使い、考えをカタチにする縁の下の方です。システムを通して会社全体を俯瞰して見渡せるため、経営戦略の視点も養えます。またシステムが安定稼働しなければ大切なお客様に商品をお届けすることができないし、新システム導入の投資金額も大きいので、失敗の許されない責任にプレッシャーを感じますが、日進月歩の IT が勉強でき、社内ネットワークも広がり、会社の心臓部として活躍できる場にやりがいを感じています。



進路決定のきっかけ

就職活動の際は、食品化学の勉強をしながらも研究職で仕事をしていくには自信がなく、やりたいことも定まらず、とりあえず総合職全般を中心に活動していました。実際にセミナーや面接を受ける中で、職種ではなく「企業理念と働く人」に共感したのが進路のきっかけでした。ファンケルは「世の中にあふれている『不』の解消に取り組んでいる。人間大好き企業。」と面接でイキイキと話す先輩たちに希望を感じ、私も不満を満ち、不快を快適にするサービス・仕事がしたい！と思い入社を強く望みました。今では面接官だった先輩たちとプロジェクトを組み、切磋琢磨し合いながら世の中の不の解消に取り組んでいます。共感した企業理念があるので仕事の判断がぶれることがないのが強みです。



仕事と生活／家庭のバランス

総合職のため異動はつきものです。まるで転職したように職種が変わることもあり、独身時代は週末を利用して学校に通い、資格取得に励みました。もちろん趣味や交遊、スポーツジムと 24 時間寝る間を惜しんで自分の時間を過ごしてきました。結婚後、出産し、職場復帰してからは、家に帰ると家事・育児で目まぐるしく時間が過ぎていきます。残業ができない制限ある時間の中で、責任ある仕事をこなせるようスケジュール管理を徹底し「効率」と「職場に家庭（子供）の事情を持ち込まない姿勢」を心がけています。幸い、会社もワーキングマザーをサポートしてくれるため、自分の努力次第で家庭を犠牲にすることなく、やりがいある仕事ができていると感じています。



進路選択に対するメッセージ

いつになったら「就職難」の時代は終わるのだろう、私は何ができるのだろう、自分に自信がないなど不安はたくさんあると思います。結局、不安は頭で考えていることなので、とりあえずトライしてみてください。仕事・結婚・出産等たくさんの人生イベントがこれから待っていると思いますが、自分が決めて努力した分、必ず結果は返ってきます。そう信じて私もこれからも頑張るので、女道ハッピーと一緒に頑張りましょう！



*プロフィール

日本大学櫻丘高校卒業→日本大学農獣医学部・農芸化学科（現、生物資源科学部・生命化学科）卒業→株式会社ファンケルにて勤務（総合職のため顧客接点部門や販売管理を経験し、情報システム部へ異動）→結婚→出産→育児休暇を経て復職→情報システム部に在籍中（現職）